

U.S.Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 拡大の一途を辿る貿易赤字 (05年1月貿易統計)

発表日: 05年3月11日 (金)

～過去2番目の赤字額～

(No. UI-183)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518: seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods	サービス Services	財 Goods
04/01	▲458.47	▲496.88	+38.41	▲1.4	(+8.2)	▲1.3	+0.4	(+9.1)	+0.3
04/02	▲458.63	▲498.66	+40.03	+4.1	(+11.6)	+5.3	+2.7	(+12.2)	+3.1
04/03	▲471.27	▲515.00	+43.73	+3.2	(+14.8)	+3.6	+3.1	(+12.4)	+3.5
04/04	▲485.11	▲530.83	+45.72	▲1.0	(+16.2)	▲2.0	+0.3	(+15.5)	+0.2
04/05	▲473.89	▲515.70	+41.81	+2.7	(+17.5)	+4.2	+1.0	(+17.0)	+1.0
04/06	▲554.21	▲592.13	+37.92	▲4.0	(+10.1)	▲5.8	+2.9	(+19.2)	+3.0
04/07	▲507.08	▲548.57	+41.49	+3.1	(+12.2)	+4.3	▲1.2	(+16.1)	▲1.3
04/08	▲539.68	▲570.79	+31.11	+0.4	(+14.7)	+0.8	+2.5	(+21.0)	+2.3
04/09	▲511.88	▲550.80	+38.92	+1.2	(+13.5)	+1.7	▲1.1	(+16.9)	▲0.7
04/10	▲558.91	▲602.09	+43.18	+0.5	(+11.4)	+0.1	+3.5	(+18.9)	+4.2
04/11	▲594.15	▲634.76	+40.61	▲0.8	(+8.0)	▲1.7	+1.8	(+20.4)	+1.6
04/12	▲557.44	▲598.58	+41.14	+3.2	(+11.5)	+4.4	▲0.4	(+16.5)	▲0.5
05/01	▲582.70	▲622.81	+40.11	+0.4	(+13.6)	+0.2	+1.9	(+18.2)	+1.9

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
	原材料 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		原材料	資本財	自動車	消費財	
04/06	▲5.6	▲7.2	▲8.2	▲3.6	▲1.1	+3.0	+9.8	+4.7	▲3.7	▲0.3
04/07	+3.8	+7.4	+5.2	+8.4	▲2.2	▲1.3	▲3.4	▲0.6	+2.3	▲1.5
04/08	+0.9	▲1.8	▲0.1	+3.2	+4.1	+2.3	+8.0	▲0.4	+0.5	▲0.4
04/09	+1.9	+2.6	+1.0	▲1.2	+2.6	▲0.7	▲3.0	+1.5	+1.3	▲0.2
04/10	▲0.1	+2.9	+0.1	▲0.8	+0.0	+4.1	+8.3	+1.0	▲0.4	+5.5
04/11	▲1.8	▲1.8	▲3.4	▲1.5	▲0.4	+1.6	+4.0	▲0.6	▲2.1	+2.3
04/12	+4.3	+4.1	+5.8	+3.7	+6.9	▲0.4	▲2.8	+1.8	+1.0	▲0.6
05/01	+0.0	+0.2	▲0.7	+3.5	▲2.0	+1.9	▲1.8	+1.7	+2.8	+6.0

(注) 季調済前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automobiles

*3: Automobiles vehicles, parts and engines

*4: Consumer goods, except automobiles

	輸出					輸入				
	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本
04/05	+16.2	+7.4	+17.9	+17.3	+19.8	▲4.8	+15.6	+13.0	+15.6	+12.8
04/06	+10.9	+9.6	+14.6	+6.0	+9.5	+7.5	+22.4	+23.9	+24.9	+14.3
04/07	+12.0	+14.9	+12.0	+10.6	+8.7	+8.5	+14.4	+15.4	+13.5	+5.9
04/08	+15.3	+23.6	+18.3	+11.0	+9.5	▲0.4	+24.7	+25.4	+19.6	+19.9
04/09	+15.7	+14.8	+14.5	+14.9	+16.8	+7.0	+16.6	+13.1	+21.5	+7.1
04/10	+11.0	+9.1	+10.4	+10.4	+9.6	+20.3	+15.5	+12.7	+18.8	+6.9
04/11	+8.2	+14.9	+15.0	+4.1	▲2.6	▲5.2	+26.9	+21.8	+26.4	+15.8
04/12	+13.9	+15.5	+15.1	+17.8	+4.4	▲0.2	+16.2	+13.5	+16.6	+9.0
05/01	+12.2	+17.2	+13.8	+9.9	+6.1	+0.3	+18.2	+17.0	+18.0	+15.1

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

▲582.70 億ドルと過去2番目の赤字額

2005年1月の米国の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、582.70億ドルの赤字(前月比+7.7%)と、赤字額が市場コンセンサスの▲568億ドルを上回り過去2番目の高水準となった。サービス収支の黒字額が縮小し、財収支の赤字額が拡大した。輸出は、自動車が増加したものの資本財、消費財の減少を主因に前月比+0.0%と横這いとどまった。一方、輸入は原油価格の下落による原油輸入の大幅に減少にもかかわらず堅調な国内需要を映じた消費財、自動車、資本財の増加によって同+1.9%となった。

1月分だけで1～3月期の純輸出の実質GDP寄与度をみると前期比年率▲0.87%と10～12月期の▲1.43%から低下する。ただ、このマイナス寄与度でも1～3月期の成長率見通しに強気になっていた向きの下方修正要因となろう。最終的には、2、3月も輸入が増加するとみられることから、1～3月期の実質GDP寄与度のマイナス幅はさらに拡大する可能性が高い。

**世界的な景気後退を
避けながら経常赤字
を削減するには長期
間にわたるドル安が
必要**

原油の輸入が減少したにもかかわらず貿易赤字が拡大したように、原油以外の輸入が高水準で推移しており、現状の貿易・経済構造では貿易赤字の根本的な削減は難しいと考えられる。貿易赤字を大幅に縮小させるためには、輸入が減少するか、輸出が大幅に増加する必要がある。しかし、輸入を減少させるには、国内の消費を抑制しなければならず雇用の拡大ペースが鈍化、或いは減少し、景気後退に陥るリスクがある。このため、輸入が増加するなかで輸出が大幅に拡大する必要がある。この方法としては、①貿易相手国の輸入障壁の撤廃、②輸出先の米国を上回る高い成長（米国輸入の所得弾性値が貿易相手国よりも高く上昇トレンドにあるため）、③ドル実効レートの減価、が挙げられる。①、②については、貿易相手国の輸入障壁は簡単にはなくならず、また貿易相手国の金融財政政策が米国ほどの柔軟性に欠けるため高い成長も期待できない。

ドルの実効レートは、貿易赤字の拡大、外貨準備のドルから他の通貨へのシフト観測等によって足下で再びドル安が進んでいる。今後も、継続的な利上げが予想されるため、ドルの急落は避けられるとみられる。しかし、米政権は、為替レートはファンダメンタルズに基づき市場で決定されとのスタンスを維持すると予想される。このような中、ドルの売り材料となり易い双子の赤字に関しては、財政赤字が補正予算等によって再び拡大すると見込まれる。経常赤字も拡大傾向に歯止めがかかる可能性は低いことから、ドル売り圧力の強い状態が続こう。

**対NAFTA以外は
前年比二桁増**

地域別の収支では、対中国が▲153億ドル（前年比+32.9%）と13ヵ月連続で最大赤字国となった（貿易赤字全体の27.1%）。対欧州は▲81億ドル（同+25.4%）と高水準で推移しており、欧州景気の下支え要因となっている。欧米金利差の拡大が続くものの緩やかなペースが予想されることや、高水準の対欧州貿易赤字が続くと見込まれること、EU拡大に伴うユーロへの需要が増加傾向にあることから、ユーロは対ドルで強含み易い環境が持続しよう。対NAFTAが▲91億ドル（同+9.8%）、対日は▲62億ドル（同+18.2%）、対OPECが▲61億ドル（同+27.8%）と高止まりしている。

**輸入では、国内需要
の好調を映じて自動
車、消費財、資本財
が増加した**

通関ベースでは、輸入は原油等原材料、消費財の増加によって前月比+1.9%と増加に転じた。一方、輸出は自動車が増加したものの、消費財、資本財が減少したため横這いとなった。

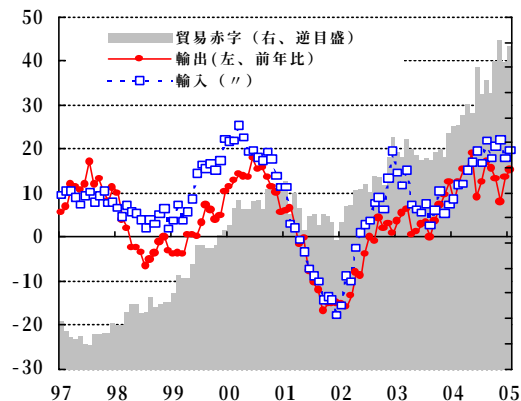
輸入の商品別内訳では、①産業資材は、天然ガス、化学等が増加したものの、原油、石油製品、燃料油等の輸入が減少したため前月比▲1.8%と2ヵ月連続の減少となった。特に、原油は同▲8.0%と前月に続き急減した。一方、②消費財は、調合薬、iPodなど音響機器が減少したものの、その他家財道具、TV・録画機、アパレル・

繊維関連、玩具・ゲーム・スポーツ用品、骨董品・絵画が増加したため同+6.0%と急増した。③自動車を除く資本財輸入は、電気装置、医療機器、コンピューター部品、半導体、産業機械・同エンジン等の拡大により同+1.7%と2ヵ月連続の増加となった。④自動車は、海外自動車メーカーの好調な販売を映じて同+2.8%と2ヵ月連続で増加した。

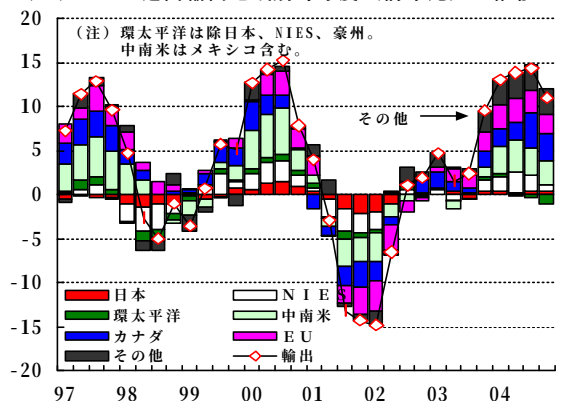
輸出では自動車が堅調持続

輸出の商品別内訳では、①自動車は前月比+3.5%と2ヵ月連続の増加、②産業資材は天然ガス等の拡大によって同+0.2%と増加した。一方、③消費財は、その他家庭道具、TV等の拡大によって同▲2.0%と減少した。④資本財は、産業用動力機、民間航空機、医療機器、半導体、計測・検査・制御機器、コンピューター部品等の減少により同▲0.7%と2ヵ月ぶりに減少した。

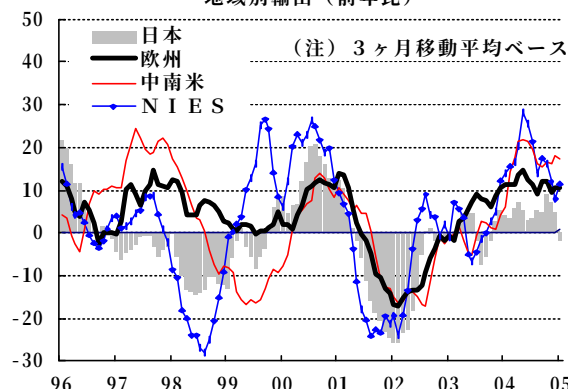
(%) 米国貿易動向 (財、BOPベース0億ドル)



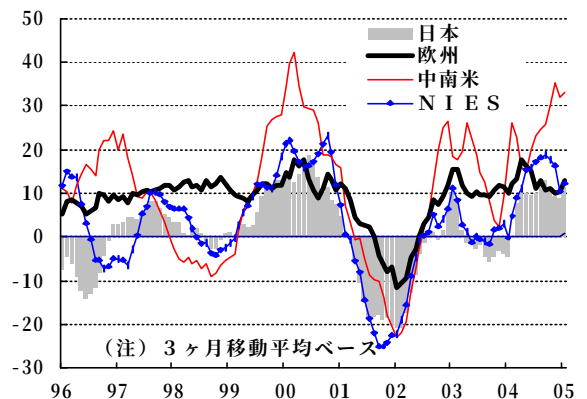
(%) 通関輸出地域別寄与度 (前年比) の推移



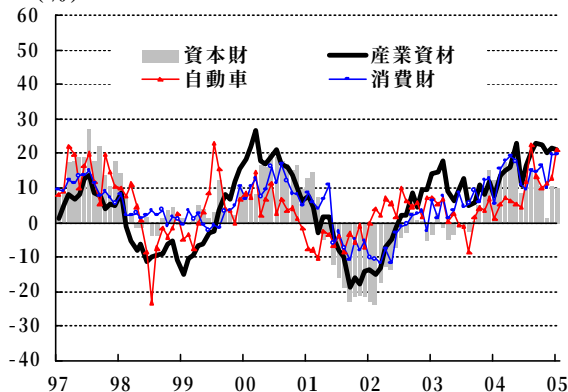
(%) 地域別輸出 (前年比)



(%) 地域別輸入 (前年比)



(%) 財別輸出の推移 (前年比)



(%) 財別輸入の推移 (前年比)

